

仙台市博物館協議会(令和4年度第1回)会議録

1. 会議の年月日 令和4年5月24日(火)

2. 開会及び閉会の時刻 午後1時30分から午後3時35分まで

3. 出席委員の氏名(五十音順・敬称略)

尾崎彰宏、籠橋俊光、鹿又喜隆、齋藤敦子、佐藤憲子、高橋卓誠、伊達泰宗、長岡龍作、森美智子

※佐治ゆかり委員は欠席。伊達委員はオンラインでの出席。

4. 説明者の職及び氏名

館長＝今井吏、副館長＝樋口智之、庶務係長＝村上明日香、学芸企画室長＝酒井昌一郎、

学芸普及室長＝水野沙織、指導主事＝村上聡

学芸企画室主任・記録＝菅原美咲

5. 委嘱状交付

委員の任期は令和4年度から令和5年度とする。

6. 会長・副会長選出

長岡委員からの推薦により尾崎委員を会長に、森委員からの推薦により長岡委員を副会長とする。

7. 議題及び報告並びに議事の要旨

(1) 会議録署名委員の選任

会長と佐藤委員とする。

(2) 報告事項

① 大規模改修工事について(庶務係長報告)

「資料1」のとおり。

〔委員からの意見〕

改修工事の進捗状況について、報道機関に働きかけて積極的に広報し、休館中でも多様な活動をしていることを定期的にPRしてはどうか。

〔事務局からの回答〕

今後検討していきたい。

〔委員からの意見〕

前回の協議会では、休館中の博物館について、YouTube等での紹介を検討するとの消極的的回答だったが、もっと積極的に行ってほしい。

〔事務局からの回答〕

報道機関も検討するが、館だよりですで行っている紹介内容なども併せて検討していきたい。

〔委員からの意見〕

工事記録は今後長期にわたって重要な記録となる。撮影などして記録しているか。

〔事務局からの回答〕

画像等で経過がわかるように記録している。引き続き、後で見てもわかるようにしていきたい。

〔委員からの意見〕

展示内容のリニューアルはどの程度検討しているか。展示内容は改修する展示ケースの仕様にも関係してくる。また、考古学の分野などは近年の研究成果を踏まえた展示内容にしてほしい。

〔事務局からの回答〕

考古学の最新成果などを反映できるように考えていく。また、全体的な展示構成については、常設展示をしている総合展示室は通史展示を軸にしており、現状維持を考えているが、各コーナーのつながりをよりわかりやすくできないかなどを検討したいと考えている。テーマ展示室・コレクション展示室など、資料群として展示する部屋については引き続き現状維持を予定している。年に4回程度の展示替えをするなかで展示テーマの広がりをより一層もたせたい。

また、今回リニューアルする企画展示室は主に展覧会を行う部屋であるため、あらゆる文化財を美しくかつ保存に適した環境で展示できるように目指している。

〔委員からの意見〕

今回の展示リニューアルは、展示内容ではなく、展示スペースや設備が中心ということか。

〔事務局からの回答〕

大規模改修の主は空調設備の改修であり、それに併せて一部展示室の展示ケースの改修も行うという位置づけである。

〔委員からの意見〕

展示ケースの改修は、ガラスと照明だけが変わるのか。ケース自体は開館以来変えていないものだと思うが、どこまでが新しくなるのか。

〔事務局からの回答〕

企画展示室の壁面ケース全体を変更する予定で、すでに既存のケースは解体済みである。

〔委員からの意見〕

設備改修が主であれ、長期休館後、市民は展示内容の変化を求めるため、内容についても検討しておく必要がある。

〔事務局からの回答〕

引き続き検討していく。

②大規模改修工事による休館中の博物館活動について(副館長報告)

「資料2」のとおり。

〔委員からの意見〕

休館中の活動の全貌が一覧になっていてよいが、資料の筆頭に記載されている展示活動を最も重視していると捉えてよいのか。とすれば展示のコンセプトやビジョン・方針について、協議会でもコミットし、協力していきたいので、検討予定の構想段階でもよいので情報を出せないか。

〔事務局からの回答〕

通史展示を維持し、コーナー毎の細切れ感を解消しながら、実物展示の重要性を踏まえることを前提と考えているが、それとともにより一層の展示技術・効果の向上を目指し、委員の先生方からも協力をいただきながら進

めたい。

〔委員からの意見等〕

展示について、東北を空間的でなく、視点としての東北を考え、外の人や世界も注目する内容を考えてほしい。

〔事務局からの回答〕

仙台市博物館は東北地方の拠点・仙台にあることを踏まえ、展覧会についても仙台から東北や日本の歴史文化を掘り起こすものと考えていきたい。

③せんだいメディアテークでの体験展示「伊達政宗とお祭りひろば」(中間報告)について(学芸企画室長報告)
「資料3」のとおり。

〔委員からの意見等〕

入場者数等を考えると報道関係の活用など、広報が少ないのではないか。

〔事務局からの回答〕

NHK など、テレビ等で何回か紹介してもらったが、準備期間の短さなどもあり、不足している面もあった。メディアテークの特性として1階の人流が5階に反映されないという課題もあった。

〔委員からの意見〕

メディアテークの1階でイベントを行ってはどうか。交通の便もよく図書館利用者も通るので集客が見込める。

〔事務局からの回答〕

長期的に計画しながら、効果の高い場所・方法を検討したい。今回は市民図書館での体験展示の広報と、5階の展示会場で関連図書を展示するといった連携を行ったところ、相互に利用者の増加につながった部分もあった。

〔委員からの意見〕

仙台駅や地下鉄など、市民だけでなく県外者の集客も見込める場所での開催、あるいはデジタル媒体を活用した事業も検討できるのではないか。

〔事務局からの回答〕

実物展示は展示場所等の制限があるので、紙やデジタル媒体の活用などを含めて検討していきたい。

〔委員からの意見〕

デジタル化の推進などに際しては従来の業務を見直し、時代に合わせた新規事業を行っていく必要がある。

〔委員からの意見〕

学校向けのPR や子ども向けのわかりやすい広報があってもよかつたのではないか。

〔事務局からの回答〕

展示は若年層・低年齢層を対象としており、来場者の満足度は高く、テレビやラジオで紹介していただいたが、学校向けの広報が不足していたので、今後検討したい。

④仙台国際センターでのレプリカ・パネル展示について(学芸企画室長報告)

「資料4」のとおり。

〔委員からの意見等〕

立地が町から離れ、国際センター周辺自体の人の流れが少なく、国際センター内の展示場所も少なく、展示がさみしい。コロナ禍という課題もあるが、触れるなど体験できるようなものを検討し、人が集まる工夫がほしい。広報も工夫すべきである。

〔事務局からの回答〕

ご意見ありがとうございます。今回の展示は準備期間の短さなどがあったが、今後広報も含めて計画性をもって検討していきたい。

⑤教育普及事業について(指導主事報告)

「資料5」のとおり。

〔委員からの意見等〕

ガイドアプリ等コンテンツの充実とは具体的にはどのような内容はなにか。

〔事務局からの回答〕

ポケット学芸員での資料紹介について、5件の資料を4カ国語翻訳して掲載することを検討している。

〔委員からの意見等〕

名品図録のデジタル公開など、休館中でも市民が資料を見ることで博物館や収蔵文化財に関心を持ってもらうことが重要だと思うが、事業の推進には予算的な限界があるのか。併せてデジタル公開の際は見てもらえるようなデザインも重要である。

〔事務局からの回答〕

業務体制などを踏まえ、スピード感をもって対応したい。

〔委員からの意見等〕

学校ではクロームブックの導入で、デジタル化が進んでいる、指導要領に合わせて、調べ学習の入口となる内容や、改修工事を紹介する動画コンテンツの提供などができると、子どもが興味を持ちやすい。

〔事務局からの回答〕

ご意見ありがとうございます。

〔委員からの意見等〕

館外講師について、学芸員の館外での報告など重要な活動だと思うが実績はどうか。活動していることを示すためにも数字は出したほうがよい。

〔事務局からの回答〕

老壮大学など、今年度は今現在 30 件程度申込みがあった。今後も引き続き力を入れたい。

⑥市史活用推進事業について(学芸普及室長報告)

「資料6」のとおり。

⑦各種機関との連携事業について(学芸普及室長報告)

「資料7」のとおり。

〔委員からの意見等〕

連携事業は特筆すべき変化や内容があるか。

〔事務局からの回答〕

連携を継続していること自体が重要であると考え。連携の意義について、例えば子どもたち向けに発信するイベントなどで、多様なミュージアムが連携することで、より子どもたちに響く内容が届けられるなどの意義があると思う。

⑧その他(庶務係長報告)

なし

[委員からの意見等]

福岡市博物館での内容について報告がないが、どのような内容か。

[事務局からの回答]

「独眼竜伊達政宗」という展示で、政宗を中心とした当館の名品を貸し出す予定である。西日本の方に仙台の歴史や文化を伝えることができる休館中ならではのよい機会と考えている。

[委員からの意見等]

福岡市博物館と宮城県美術館以外では他に展示予定があるか。展示が難しければ、ホームページ等で具足などが現在どこにあるかなどを広報してはどうか。

[事務局からの回答]

指定文化財は展示期間に制限があるため、他での公開は検討していないが、ご提案のように広報を効果的に行いたい。

[委員からの意見]

全体に事業が多い印象を受ける。市史活用推進など見直しを進め、休館中に今後の取り組むべき内容を精査したほうがよい。

[事務局からの回答]

検討します。

(3)その他

次回の協議会開催日について、休館中で展覧会等の協議事項がないため、7月の開催を見送り、令和5年1月31日を予定したい。

[委員からの意見等]

提案の通りで問題ないが、開館に向けての内容など、次回は少し具体的な内容に触れてほしい。

[事務局の回答]

了解した。